

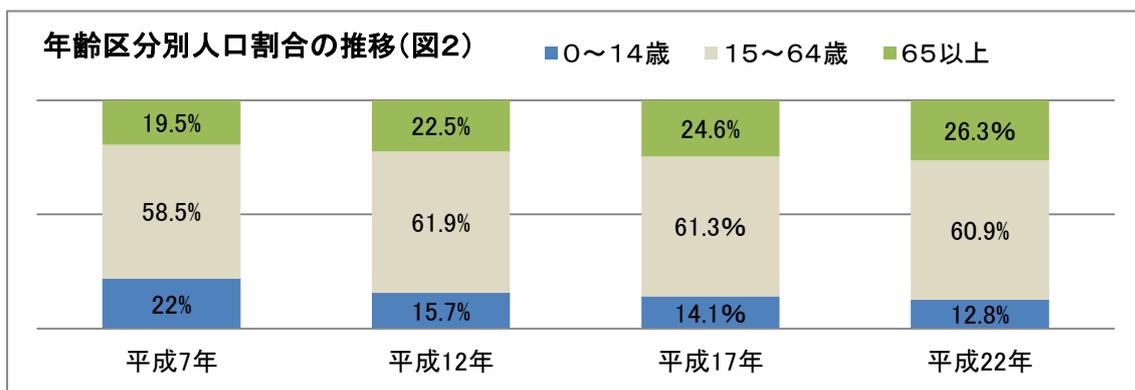
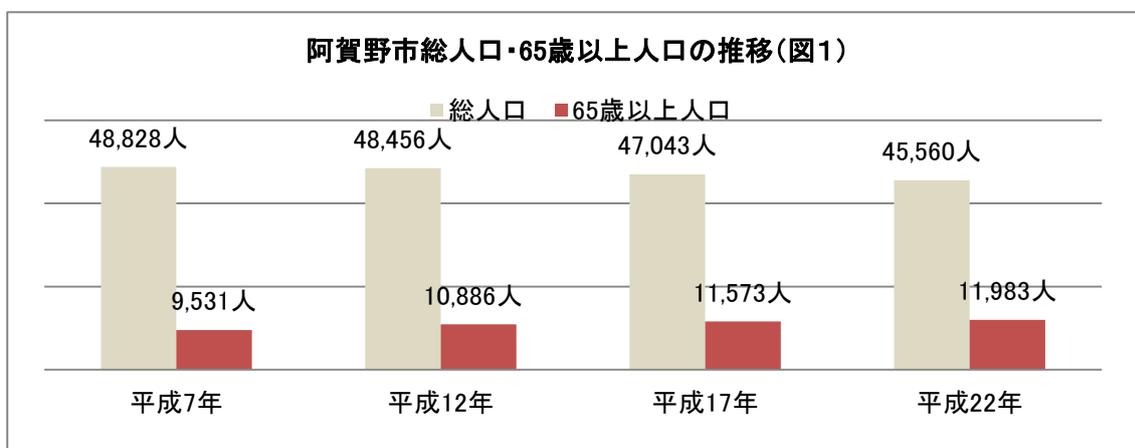
第2章 阿賀野市民の健康を取り巻く現状

1. 人口

本市の人口は、平成7年をピークに減少を続け、平成22年には45,560人となりました。(図1)

年齢区分別人口割合を年次別に見ると、64歳以下の人口が徐々に減少し、65歳以上の高齢者割合が増加しています。平成22年の高齢化率は26.3%で年々増加しています。(図2)

今後も人口の減少は続き、10年後の2025年には、約3万9,000人となり、現在より14%減少すると予測されています。



地区別人口の推移(表1)

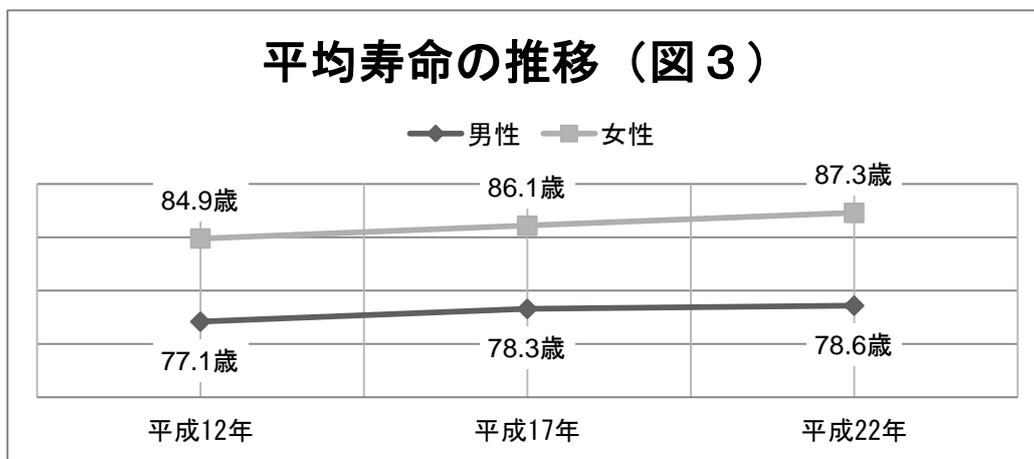
地区	安田地区	京ヶ瀬地区	水原地区	笹神地区
平成17年(人)	10,223	7,831	20,175	8,814
平成22年(人)	10,079	7,437	19,728	8,316
差	△ 144	△ 394	△ 447	△ 498
増加割合(%)	△ 1.4	△ 5.0	△ 2.2	△ 5.7

2. 平均寿命・健康寿命

平成 22 年の本市の平均寿命は、男性 78.6 歳、女性 87.3 歳となっており、平成 17 年からの 5 年間で男性は、0.3 歳、女性は 1.2 歳延びています。(図 3)

全国、新潟県と比較すると、男性は全国より 1.0 歳低く、新潟県と比べても 0.9 歳の開きがあり県内ワースト 2 です。(男性の県内最下位は村上市の 78.3 歳)

女性では、国よりも 0.9 歳、県より 0.3 歳高く、県内順位は 10 位です。(表 2)



阿賀野市・新潟県・全国の平均寿命の比較 (表 2)

	男 性	女 性
阿賀野市	78.6 歳	87.3 歳
新潟県	79.5 歳	87.0 歳
全国	79.6 歳	86.4 歳

(* 平均寿命とは、0 歳の平均余命である)

また、健康寿命の指標のひとつである「日常生活に制限のない期間の平均」を見ると、全国では男性 70.42 年、女性 73.62 年となっており、平均寿命との差は男性が 9.13 年、女性は 12.68 年となっています。

本市では人口規模が少なく正確な健康寿命のデータがないために、「お達者度」を算出してみました。

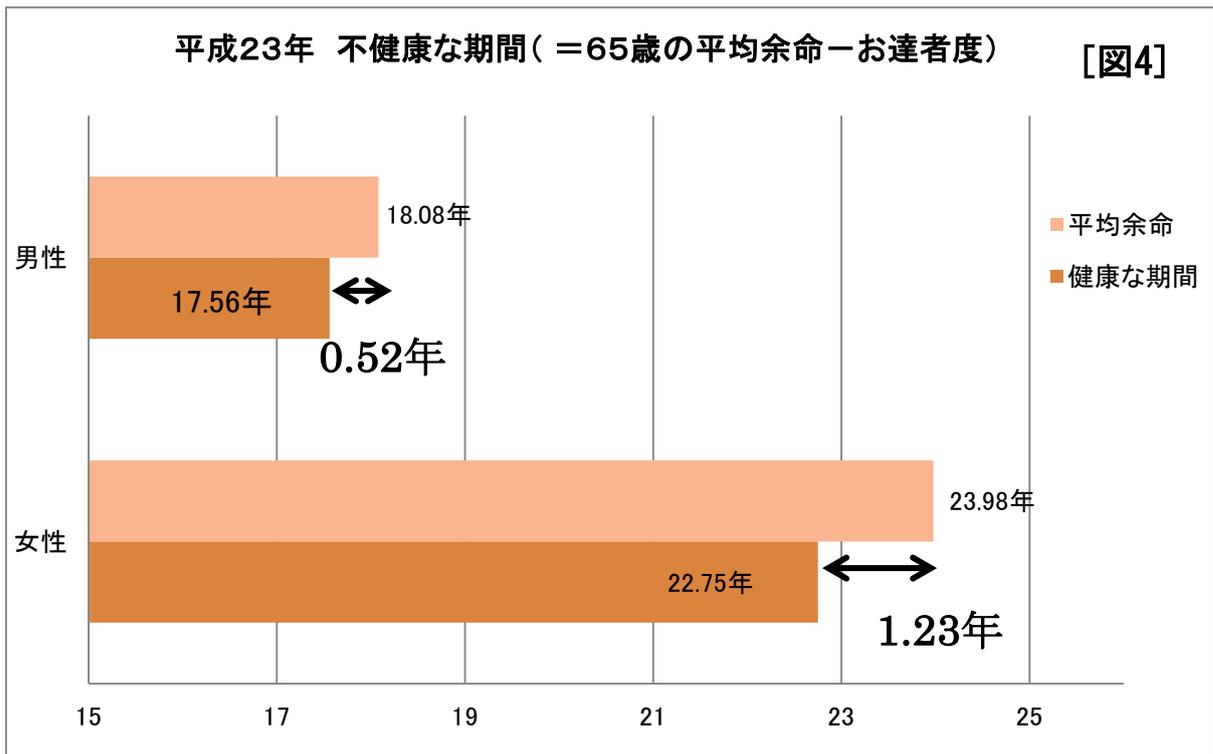
*** お達者度とは**

お達者度とは、65 歳から元気で自立して暮らせる健康な期間を、介護認定の情報や死亡の情報等をもとに生命表を用いて算出したものである。

<算出方法根拠：平成 24 年度厚生労働省科学研究費補助金（循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業）による健康寿命における将来予測と生活習慣病対策の費用対効果に関する研究班>

本市の平成23年の「お達者度」は、男性17.56年、女性22.75年です。不健康な期間（65歳の平均余命－お達者度）は、男性0.52年、女性1.23年となります。[図4]

このことから、女性は男性よりお達者度、平均余命ともに上回っていますが、不健康な期間は男性より長いといえます。



3. 人口動態

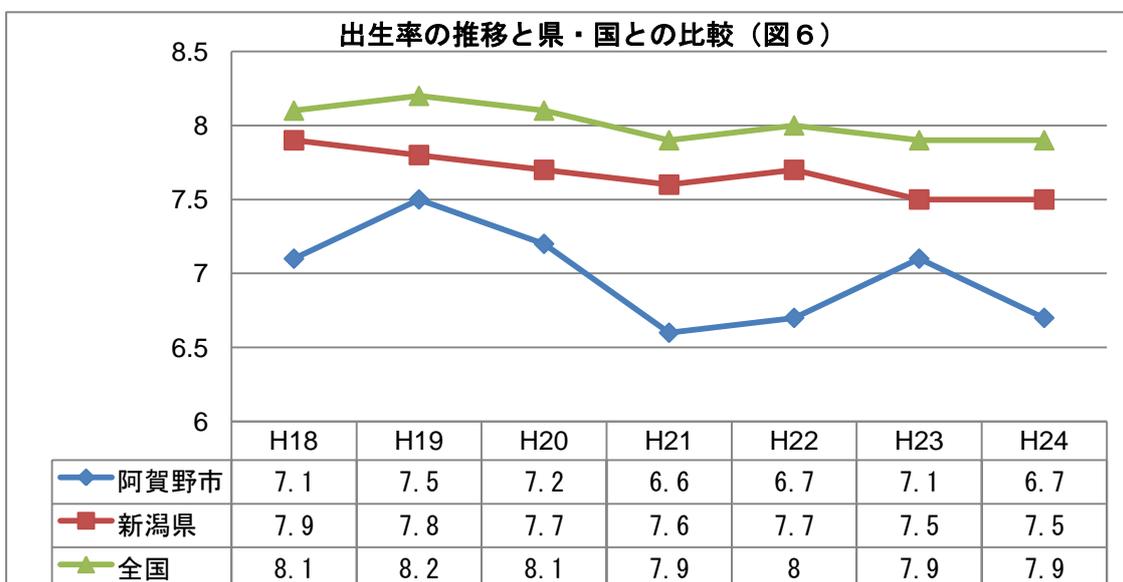
1) 出生

本市の出生数は、年間 300 人程度で、出生率（人口千対）は、6.6～7.0 前後を推移しており、減少傾向が続いています。（表 3）

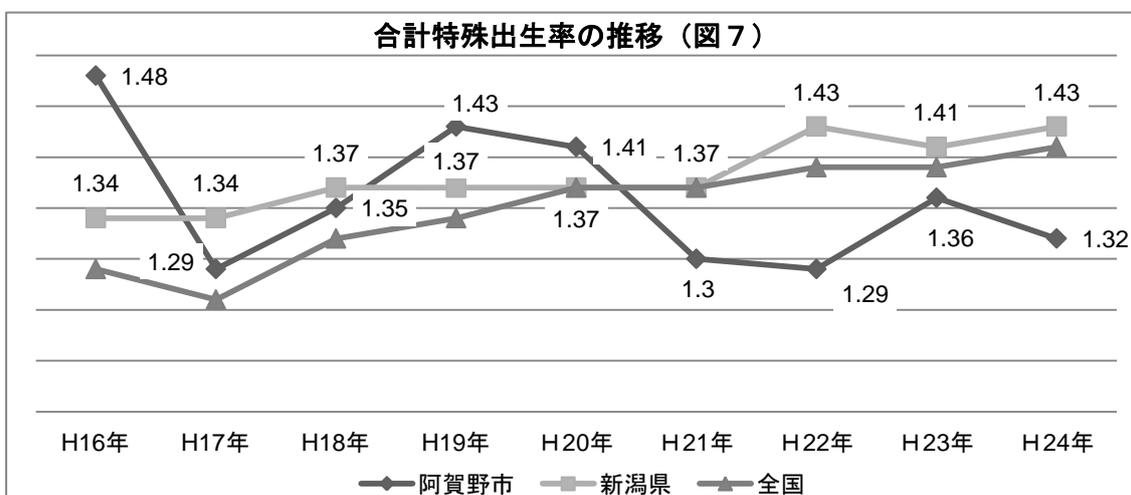
平成 24 年の出生数は、301 人、出生率 6.7 で、県との差が 0.8 ポイントと大きく開いています。（図 6）

阿賀野市 出生数・出生率の推移（表 3）

	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
出生数	331	346	332	300	307	320	301
出生率	7.1	7.5	7.2	6.6	6.7	7.1	6.7



本市の合計特殊出生率は、平成 24 年で 1.32 と、国、県と比べて大きく下回っています。（図 7）



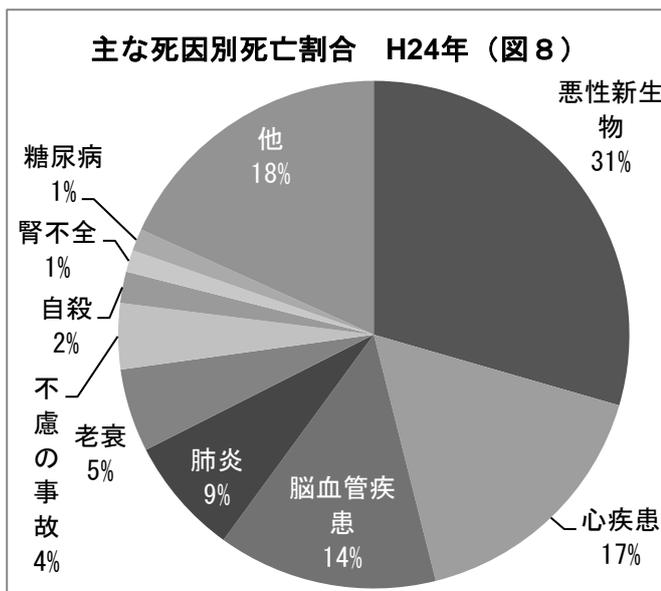
2) 死亡

平成 24 年の本市の主な死因を見ると、悪性新生物（31%）が最も多く全死因の約 3 割を占めています。次いで心疾患（17%）、脳血管疾患（14%）となっており、これらの生活習慣病に関連する死因が、約 6 割（62%）となっています。（図 8）

H24 年 死因別死亡者数（表 4）

死 因	死亡数（人）
総数	589
悪性新生物	174
心疾患	98
脳血管疾患	82
肺炎	44
老衰	31
不慮の事故	25
自殺	12
腎不全	8
糖尿病	8

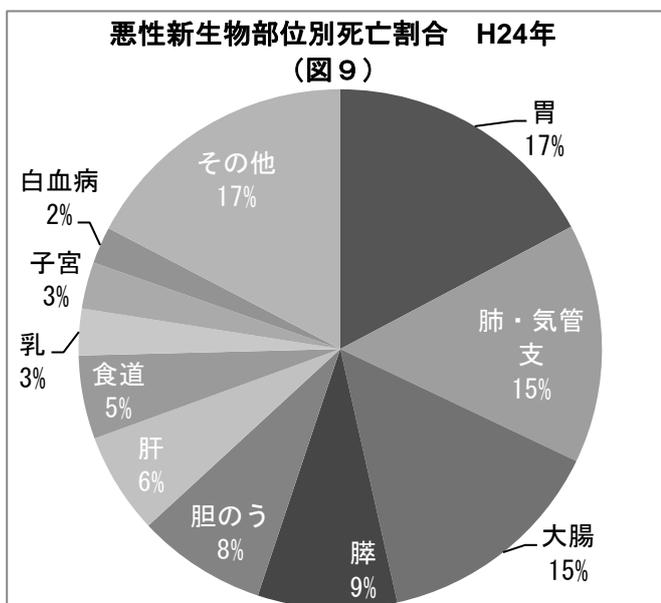
（新潟県保健福祉年報 平成 25 年）



悪性新生物の内訳（表 5）

悪性新生物部位	死亡数（人）
胃	30
肺・気管支	26
大腸	25
膵	15
胆のう	14
肝	11
食道	9
乳	5
子宮	5
白血病	4

（新潟県保健福祉年報 平成 25 年）

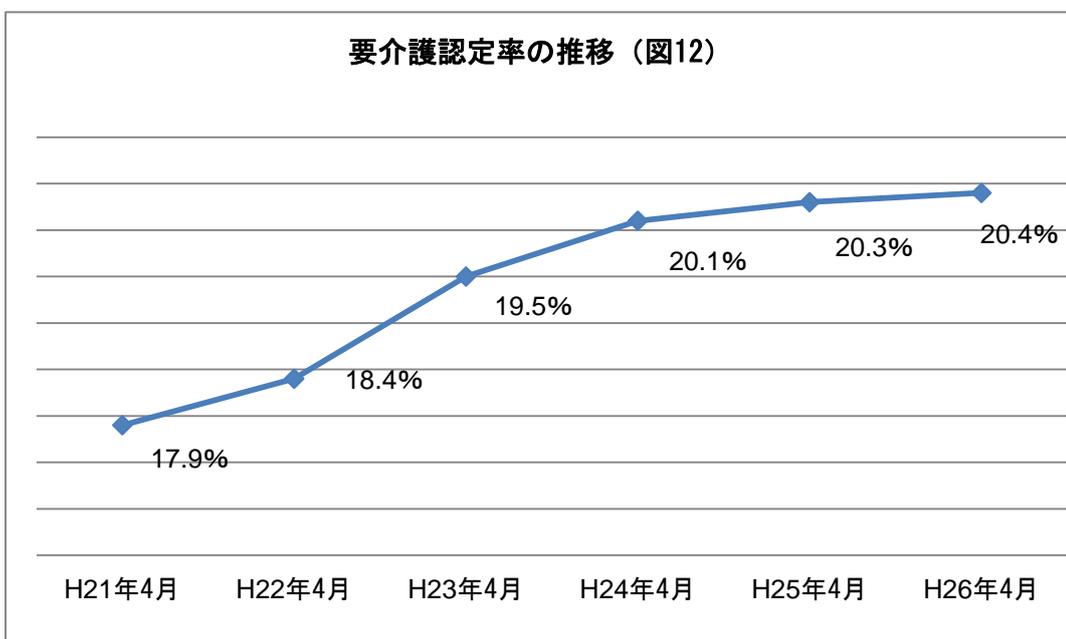
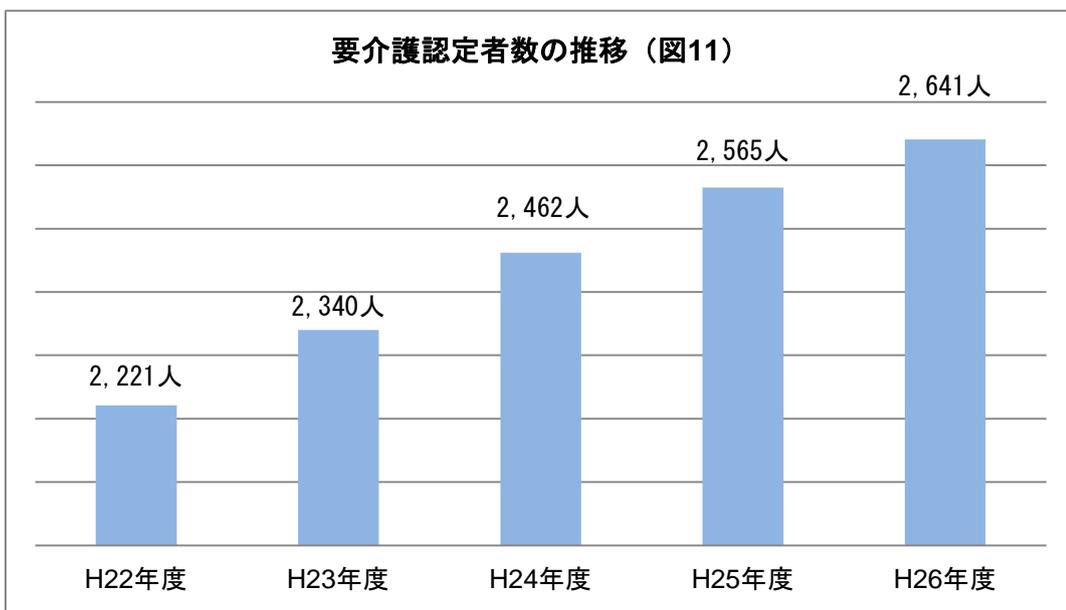


がんの部位別死亡者数では、胃がん、肺がん、大腸がんが多く、いずれも検診で発見することが可能ながんです。（図 9）

4. 介護保険

本市の65歳以上の要介護認定者数は、平成22年度 2,221人から毎年増加し、平成26年度には、2,641人です。(図11)

要介護認定率は、平成26年4月には20.4%となり上昇傾向にあります。(図12)



平成 26 年度の要介護度別割合では、要介護 4～5 の重度者は 28.4%で横ばいに推移しています。(図 13)

